

山口県病院協会 会報

2025 **4月号** No.87

- 発行日 令和7年4月1日
- 発行所 一般社団法人山口県病院協会
〒753-0814 山口市吉敷下東三丁目1番1号
- 電話 083-923-3682
- FAX 083-923-3683
- 発行人 三浦 修
- 印刷所 大村印刷株式会社
- メールアドレス info@yha.or.jp
- ホームページ <http://www.yha.or.jp>



医療法人仁徳会 周南病院

〒745-0034

住 所 周南市御幸通2丁目8番地

電 話 0834-21-0357

F A X 0834-22-3051

URL : <https://shunan-hospital.info>

CONTENTS (目次)

会員病院紹介	2ページ
協会役員コーナー	3ページ
病院スタッフコーナー	4ページ
四県病院協会連絡協議会報告	5ページ
研修会報告	5ページ
部会コーナー	6ページ
トピックスコーナー	6ページ
諸会議報告	7ページ
お知らせコーナー	8ページ

会員病院紹介

理事長挨拶 ～医療法人仁徳会 周南病院～



医療法人仁徳会
周南病院
理事長・病院長

大庭 幸生

周南病院は昭和42年の開業以来、地域住民の健康増進（予防医療）から、回復期、慢性期、在宅に至るまでの幅広い医療の提供と地域に根差した医療に取り組んできました。特に最近のご自宅での療養をサポートする『在宅医療』に力を入れており、医師による月2回の定期訪問診療をはじめとし、往診や入院の手配を行っています。また、医師の指示のもと、訪問看護、訪問リハビリを行う体制も整備し、患者さまに24時間365日の支援をしています。医師、コメディカル、事務が三位一体となって取り組むことで、在宅で療養中の患者さまの様々なお困りの方々への対応を可能にしています。

駅近の生活習慣病等のかかりつけ医として、お気軽にご相談いただける外来機能も充実を図っております。また、外来や在宅診療を受けていても、病状が急性増悪する場合があります。そんな場合にもすみやかに対応できるよう「地域包括ケア病棟」を運営し、外来、在宅、病棟スタッフがともにカンファレンスに参加して情報共有をする院内連携も取っています。さらに、病院での療養を希望される方のための「医療療養病棟」も運営しています。

近年、病院施設は老朽化が進み、治療環境・療養環境の整備が急務となり、併せて地域医療ニーズへの対応、医療従事者の人材確保など総合的に検討した結果、隣地に新病院を建築し移転する計画に至り、この度10月1日に隣地に移転し新規オープン致しました。

今後も地域の医療機関、介護施設と連携を図りながら、長年培ってきた『予防～人生の最終段階まで一貫した包括的医療』を更に強化し、地域の皆さまの人生に寄り添った医療を提供していくことに益々尽力してまいります。

〈病院の現状〉

1) 概要

名称 医療法人仁徳会 周南病院
開設者 医療法人仁徳会
理事長 大庭 幸生
住所 山口県周南市御幸通2丁目8番地
TEL 0834-21-0357
FAX 0834-22-3051
URL <https://shunan-hospital.info>
病院長 大庭 幸生
診療科 内科・アレルギー科・脳神経内科・リハビリテーション科・精神科・麻酔科
病床数 56床
地域包括ケア病棟28床、医療療養病棟28床

2) 沿革

昭和20年12月 磯村医院創設
昭和24年3月 徳山駅前（現病院所在地）に新築移転
昭和30年10月 磯村病院に改組、病院増改築、一般病床増床（27床）
昭和36年10月 病院増改築、一般病床増床（48床）
昭和42年8月 医療法人仁徳会に改組 周南病院と改称、一般病床減床（43床）

昭和60年9月 創立40周年 周南病院新築
昭和62年2月 一般病床増床（60床）
平成8年2月 一般病床減床（56床）
平成11年11月 病床転換（医療療養病床52床、一般病床4床）
平成15年4月 病床転換（医療療養病床40床、介護療養病床16床）
平成28年12月 病床転換（医療療養病床56床）
平成29年1月 病床転換（医療療養病床36床、地域包括ケア病床20床）
令和6年10月 周南病院新築移転、病床転換（医療療養病床28床、地域包括ケア病床28床）

3) 特徴

当院は、周南地区で生活する方々が、療養が必要な状況になっても、自分らしい暮らしを最後まで続けることができるよう「地域包括ケアシステム」の一員としての役割を担いたいと考えております。「在宅療養支援病院」としての在宅医療を基軸とし、入院（地域包括ケア病棟・医療療養病棟）、外来（かかりつけ医機能）、健診を運営しております。地域の医療機関・介護施設等とも連携を図りながら、予防から人生の最終段階まで、患者さま一人一人の人生に寄り添った医療を行っています。

協会役員コーナー

技術は最大の優しさである



独立行政法人
国立病院機構
関門医療センター
病院長

吉野 茂文

私は平成3年から約4年間、愛媛県の市立八幡浜総合病院に勤務しそこで徹底的に外科手技の基本を教わりましたが、当時外科部長の若林先生とよく議論したものです。外科医にとって一番必要なものは何かと。若林先生はいつも優しさだと言われる。優しさがなければだめですよと。いやいや、いくら優しくても技術がなければだめでしょう、と反論する私。今から思えば、技術に驕る事勿れ、優しさを忘れる事勿れ、と諭されていたのだと思います。

今、外科医になって39年、内視鏡手術全盛の時代に突入し、改めて技術の重要性を感じます。外科医の高い技術は患者さんにとっての最大の優しさであると。いい手術をすれば、合併症や後遺症もなく早期に退院でき、術後のQOLが良いことは、皆さんご存じのとおりです。

外科医を志す医学生が少なくなったと言われて久しいですが、外科に興味を持たせるためには、見ていて吸い込まれるような見事な手術を見せることも大事です。内視鏡手術は、術野が大きなテレビモニターに映し出され学生に対する教育効果は抜群ですが、そのメリットを活かすどころか、かえって下手で冗長な手術を見せつけられたのでは、学生もたまったものではありません。

今後ますます進化する外科手術において、学生やスタッフを教育するためにもクオリティの高い手術を見せる必要があります。そうした外科医の努力が、患者さんへの優しさへ繋がるものと信じています。

病院経営について



特定医療法人茜会
よしみず病院
理事長・病院長

吉水 一郎

2024年度診療報酬改定では「0.88%のプラス改定」となっているものの、7対1病棟における看護必要度のB項目（寝返り等患者の状態・介助の実施有無等評価）が廃止されるなど、大変厳しい改定でした。実際、2024年度病院経営定期調査によると、2023年6月/24年6月の前年同月比較で医業収益はマイナス1.5%、医業費用はプラス0.6%となっており、コロナ関連緊急支援事業補助金、水道光熱費補助金等の支給が終了する一方で、物価上昇により種々のコストは増大、さらには人件費増も重くのしかかり、病院経営はさらに厳しさを増しています。

また今改定では、2040年頃をピークに増加が見込まれる高齢者救急を担う医療提供体制構築のため、新たに「地域包括医療病棟」が創設されましたが、施設基準が厳しすぎるため、簡単には移行できないというのが実態です。今後は急性期病院だけでなく慢性期病院や在宅医療にもその役割を分担させる動きがあると思われませんが、下関市では

医師の高齢化も進み、担い手不足が懸念されます。

さらに厚労省は効率的な医療提供体制構築のため医療DXを推し進めています。前述した医師の高齢化や右肩上がりの賃上げの状況下において、デジタル人材を確保し、設備をアップデートしていく負担も非常に大きいものとなっています。今後さらに最低賃金が引き上げられ「2030年代半ば1,500円」という目標値に到達した際には、当院では人件費率が6%上昇することが見込まれます。その場合、特例的な措置、給付金などで対応をされても焼け石に水の状態になります。昔、愚痴のように言っていた、報酬単価が1点11円にでもならないと存続が困難かもしれません。山口県医師会の加藤会長が年頭の挨拶で「今までの善意の医療が出来なくなならないよう努力する」と述べられていましたが、まさにその通りです。

病院スタッフコーナー

周東総合病院の情報システムを支える体制について



山口県厚生農業
協同組合連合会
周東総合病院
総務課長代理（IT支援）

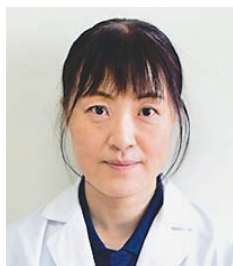
河村 裕介

近年の診療報酬改定では、医療DXやサイバーセキュリティなど、IT関連の課題が取り上げられるようになりました。周東総合病院では、総務課に医療情報システム部門があり、専従3名と事務業務兼任のアシスタント1名で業務に当たっています。従来の総務課とは離れた別室にあり、概ね情報システム関係の仕事に従事しています。

私は若い頃、将来は情報科学の職に就きたいと考えていましたが、就職が容易ではない時代でしたので、診療放射線技師の免許を取得できる大学で情報科学を学んでいました。卒業時は就職氷河期と国立病院再編の真っ只中、免許も取得したものの紆余曲折1年遅れて診療放射線技師として周東総合病院に就職しました。そして約8年後に医事課へ異動ののち、約1年従事し、総務課で情報システム専従になりました。医療免許をもって就職すると、基本的に部署を異動することはありませんが、医事課で約1年でも本格的に従事できたのは、今でも貴重な経験と知識になっています。他2名の情報システム担当者は、電子カルテベンダーのSEや放射線システム機器の営業と、知識も背景も異なる仲間が集まり業務を行っています。これらは、DXやサイバーセキュリティといった部門横断的に対処する課題に対し、大いに役に立っているの言うまでもありません。

先見の明を持って体制を整え、また育ててくれた理解ある先輩方、歴代及び現院長には大変感謝するとともに、これからも日々の業務に鋭意努めていきます。

地域の皆さまの栄養管理を支えたい



小野田赤十字病院
管理栄養士

中野 恭子

人生100年時代が到来しつつある日本においては、同時に急速な少子高齢化が進んでおり、そんな中、ここ山口でも住み慣れた地域で在宅での生活を継続するために「地域包括ケアシステム」の構築が進められています。市内で行われる「在宅医療・介護連携推進研修会」に参加をすると、在宅医療に関わる多くの職種の方がたくさんの意見を交わされ、よりよい在宅医療を目指す熱意にいつも心を動かされます。

当院は、昨年度10月より訪問診療を開始しました。我々管理栄養士も、地域の皆さまを支える一員として、日々勉強の毎日です。栄養の知識はもちろんですが、大切なのは在宅での実情を理解したうえで、実現可能な情報提供やアドバイスをすることです。

例えば料理をほとんどされない方や、場合によっては金銭的に困難な状況の方もいらっしゃいます。昼は袋ラーメン・夜はふりかけご飯の方に、一汁三菜の理想的な食事の話をして、受け入れていただくことも、実際に実行していただくことも困難です。現実的な方法として、まずは昼食の袋ラーメンにもやしとハムを入れ、夕食には鍋に残しておいたラーメンの汁にパックご飯と溶き卵でおじやにすることから提案しました。「うん、それなら出来るかもしれんおう」

決して100点満点の食事ではなくとも、在宅で少しでも健康に過ごしていただくために、私達にできることをひとつずつ探し、お力になれるよう邁進していきたいと思えます。

四県病院協会連絡協議会報告

第28回 四県病院協会連絡協議会

令和7年1月24日（金）に、岡山・広島・山口・福岡の病院協会による第28回四県病院協会連絡協議会が、ANAクラウンプラザホテル福岡で開催され、山口県病院協会より三浦会長ほか計4名が出席し、他県からは役員ほか計23名が一堂に会した。

各県病院協会の挨拶および自己紹介の後、それぞれの事業概要について説明があり、続いて提出議題の発表と意見交換が行われた。

各県病院協会から提出された議題は次のとおり。

- 1) 岡山県病院協会倉敷支部病院経営アンケート結果について (岡山県提出)
- 2) 各県の看護師・薬剤師の確保状況について (広島県提出)
- 3) 医療従事者不足への対応について（アンケート結果報告） (山口県提出)
- 4) 令和5年度（第8回）病院研修会報告及び令和6年度（第9回）病院研修会について (福岡県提出)

研修会報告

令和6年度 医療経営セミナー

令和7年3月12日（水）かめ福オンプレイスにおいて、病院事務長や看護部長など管理職を対象とした医療経営セミナーが開催され、28名が参加した。研修会の演題・講師は以下のとおり。

【研修1】

演題 「公開情報を活用した外来・入院患者の現状分析」

講師 医療データ分析ラボ

代表・医療データサイエンティスト 中村 敦 氏



中村 敦 氏

【研修2】

演題 「今、管理職が学ぶべき時代の変化」

講師 有限会社ケイ・アンド・ワイ

人材育成部門代表 温品 富美子 氏



温品 富美子 氏

前半では、自院の現状を知り、改善点や課題などを見つけ対応していくためのデータ分析について、中村氏よりご講演いただいた。

つづく温品氏の研修は、各世代の傾向や異なる世代間での関わり方、職員の育成について、グループワークを交えつつ考えていく内容となった。



研修風景

部会コーナー

事務長部会 支部会議報告

【周南支部】

開催日 令和7年3月14日（金）16：00～18：00
 場所 遠石会館
 研修会 テーマ「地域医療構想について」
 講師 M's Enterprise 水口 建二郎 氏
 その他 協議・報告



トピックスコーナー

令和7年国勢調査について

令和7年は5年に1度の国勢調査の実施年であり、10月1日を調査期日として調査の実施が予定されています。国勢調査は、国内に居住する全ての人及び世帯を対象とした最も重要な統計調査です。円滑な調査実施にご協力ください。

なお、リーフレットなど広報資材がご入用の場合は、下記までお問合せください。

【連絡先】山口県総合企画部統計分析課 人口統計班 TEL：083-933-2650

2025年、国勢調査を実施します。

国勢調査は、日本の未来をつくるために必要な調査です。日本に住むすべての人と世帯(外国人の方も含む)を対象です。正確な調査のために、令和7年国勢調査へのご協力をお願いします。

— 調査へのご協力をお願い —

国勢調査は非常勤の国家公務員である「国勢調査員」が世帯を訪問する方法で行われます。調査を進める上で最大のポイントは、すべての人と世帯を漏れなく、重複なく調査することです。国勢調査を正確かつ円滑に実施するために、関係機関・団体のみなさまそれぞれのご協力が必要不可欠です。調査へのご協力をよろしくお願ひします。

福祉関係・医療関係
社会福祉施設・病院関係者の方々の調査員としての協力

外国人関係団体・在留外国人支援団体・青年関係団体
日本に住む外国人の方も対象であることや調査実施の周知

経済界・労働界
企業等を訪じた社員や職員への調査実施の周知

報道関係団体
日本に住むすべての人に調査の実施及び重要性を周知

教育関係団体
学校等を通じた学生への調査実施の周知、学生寮・学生会等の円滑な調査実施への協力

研究機関・シンクタンク関係団体
調査の意義や重要性について、有識者やオピニオンリーダーからの有効な発信

上記以外の団体のみなさま
国勢調査は日本でも最も重要な統計調査であることや調査実施の周知

令和7年国勢調査の概要

調査の期日
調査は、令和7年10月1日現在で実施します。

調査の対象
令和7年10月1日現在、日本に住むすべての人と世帯(外国人の方も含む)を対象とします。

調査事項
 <世帯員について>
 「男女の別」、「出生の年月」、「配偶者の有無」、「就業状態」、「従業地又は通学地」など
 <世帯について>
 「世帯員の数」、「住居の種類」など

調査の流れ
調査は、調査員が各世帯を訪問し、調査書類を配布した後、インターネット回答のほか、調査票を郵送又は調査員に提出する方法により回答を行います。
※この調査ではインターネットでの回答をおすすめしています。

スマホでかんたん!

調査は、下の図に示す流れで実施します。

※国勢調査係長及び国勢調査員は、職務上交付する本官制の国家公務員です。
 ※一部の地域では、調査員申請を受理した事業者が調査を実施します。

諸会議報告

令和6年度 第3回理事会

日時 令和7年1月15日（水）17：00～18：00

開催場所 山口グランドホテル

【承認事項】

1. 令和6年度山口県病院協会収支予算の執行状況について
2. 役員選挙規則の一部改正について

【協議事項】

1. 令和7年度定時総会の特別講演について

【報告事項】

1. 第18回医療関係団体新年互礼会について報告
2. 第28回四県病院協会連絡協議会への提出議題について
3. 県行政委員等の推薦について
 - ・山口県医療審議会 保健医療計画部会委員
会長 三浦 修（再任）
 - ・山口県医療審議会 医療法人部会委員
会長 三浦 修（再任）
 - ・山口県肝炎対策協議会委員
常任理事 西田 一也（再任）
4. 県各種委員会等の経過報告について
 - 三浦会長
 - ・令和6年度第1回山口県医療審議会（11月13日）
馬場副会長
 - ・山口県医療費適正化推進協議会（11月21日）
高橋常任理事
 - ・令和6年度山口県高齢者保健福祉推進会議
（11月19日）

【その他】

令和6年度 総務委員会

開催 令和7年2月18日（火）15：30～16：30

開催方法 Web会議（Zoom）

【議事】

1. 令和7年度叙勲受章候補者の選定について
2. 令和7年度県選奨受賞候補者の選定について
3. 令和7年度県知事表彰（看護職員）推薦について
4. 令和7年度県知事表彰（救急医療）候補者選定について
5. 令和7年度病院優良職員の表彰（山口県病院協会会長表彰）について
6. 令和7年度山口県病院協会事業計画（案）について

【その他】

令和6年度 第4回情報管理委員会

日時 令和7年3月13日（木）15：30～16：30

開催方法 Web会議（Zoom）

【協議事項】

1. 4月号の発行について
2. 7月号の発行準備について
3. その他

令和6年度 第4回理事会

日時 令和7年3月26日（水）16：00～17：00

開催場所 かめ福オンプレイス

【議事】

1. 山口県病院協会の令和7年度事業計画書（案）並びに収支予算書（案）の設定について
2. 山口県病院協会選挙告示について
3. 選挙管理委員長の選任について
4. 職員給与規定の別表1の変更について

【承認事項】

1. 令和6年度山口県病院協会決算予測について
2. 第25回九州高気圧環境医学会の後援について

【協議事項】

1. 令和7年度病院初級職員研修会について
2. 令和7年度夏期医療経営講習会について

【報告事項】

1. 県行政委員等の推薦について
 - ・山口県看護職員確保対策協議会委員
常任理事 玉木 英樹（再任）
 - ・山口県医療安全推進協議会委員
理事 橋谷田 博（再任）
3. 県各種委員会等の経過報告について
 - 三浦会長
 - ・令和6年度第1回山口県医療対策協議会（2月5日）
 - ・令和6年度第2回山口県医療審議会（2月13日）
 - ・第117回山口県医療審議会医療法人部会（2月18日）
神徳副会長
 - ・令和6年度第3回山口県感染症対策連携協議会
（2月6日）
 - ・令和6年度第2回山口県在宅医療推進協議会
（3月11日）
 - ・令和6年度第2回山口県医療対策協議会専門医
制度部会（3月24日）
玉木常任理事
 - ・令和6年度第2回山口県訪問看護推進協議会
（3月6日）
 - ・令和6年度第1回山口県社会福祉審議会
（3月19日）
 - ・令和6年度山口県看護職員確保対策協議会
（3月21日）
松谷常任理事
 - ・令和6年度山口県医療勤務環境改善支援センター
運営協議会（3月21日）
西田常任理事
 - ・山口県救急業務高度化推進協議会・幹事会合同
会議（2月13日）
 - ・令和6年度山口県肝炎対策協議会（3月5日）
藤岡理事
 - ・令和6年度山口県がん対策協議会（2月5日）
 - ・令和6年度山口県がん対策協議会がん登録部会
（3月17日）

【その他】

- ・県協議会および委員会、他団体役員や行事などへの出席確認について

お知らせコーナー

第18回医療関係団体新年互礼会

令和7年1月11日（土）、山口市のかめ福オンプレイスにて新年互礼会が開催され、総勢314名の医療関係者等が一堂に集いました。山口県病院協会からは三浦会長をはじめとして役員ほか計15名が出席しました。

山口県医師会との懇談会

令和7年2月7日（金）、山口市の割烹 福助において、山口県医師会との懇談会が開催されました。山口県医師会からは加藤会長ほか計5名、山口県病院協会からは三浦会長ほか計4名が出席し、県内の医療情勢等について意見交換を行いました。

会員の変更

【会員の変更】

- ・山陽小野田市民病院
- ・高嶺病院

変更後
 病院長 脇阪 敦彦
 理事長 佐々木 順

変更前
 病院長 藤岡 顕太郎
 理事長 橋本 隆

【その他の変更】

- ・山口平成病院

理事長 武久 敬洋

理事長 武久 洋三

～事務局からのお願い～

病院の住所や理事長・病院長先生並びに事務長、診療科目・病床数などに変更があった場合は、事務局までお知らせください。変更届の様式は協会ホームページ（<http://www.yha.or.jp>）より印刷することができます。

病院協会の主な行事予定

- | | | |
|-------|-------------|----------------|
| ○5月中旬 | 第1回理事会 | （会場：未定） |
| ○6月3日 | 山口県病院協会定時総会 | （会場：山口グランドホテル） |
| ○6月中旬 | 第1回情報管理委員会 | （会場：未定） |
| ○6月 | 初級職員研修会 | （会場：未定） |

編集後記

◆2025年の春闘で、中小企業は33年振りに5%以上の賃上げ率となりました。一方、診療報酬は2024年度に2.5%、2025年度に2.0%のベースアップが目標と設定されており、他産業の半分にも満たない厳しい状況です。2年に1度の診療報酬改定では上昇し続ける物価は反映されず、補助金等で一部が手当てされているに過ぎません◆3月12日に日本医師会・6病院団体合同声明で、日本の病院の6割が赤字であり、「地域医療は崩壊寸前です」、「このままではある日突然、病院がなくなります」と発表されました。世間の注目をどれほど集められたのでしょうか◆病院は国民生活を支える重要なインフラです。病院を取り巻く課題が国民自身の問題として認識され、国民と私たち医療従事者が一緒に力を合わせて明るい未来を目指せる世の中となる事を願います。
 （木下 祐介）